



Bangladesh 視察報告

2024.06.20～2024.06.27



同行者 バングラ物産：アラムさん、アイマンさん（ダッカ大学） / EF：村上会長、村上尊哉

バングラデシュ視察のスケジュール

6/20

移動日：熊本 → 福岡空港 → 上海浦東空港

6/21

移動日：上海浦東空港 → 昆明空港 → ダッカ空港
シポンさんへウォーター提案、モスク視察

6/22

ダッカ → クルナ県へ移動
パイクガサ市長へウォーター提案、現地貧困層の現状視察

6/23

クルナ県 → ダッカへ移動
クルナ大学教授へウォーター提案、政府水道局へウォーター提案

6/24

ダッカ市内営業訪問
Pan Pacific Hotelへウォーター説明、マスドゥール氏（建築家）へ提案

6/25

ダッカ市内営業訪問
BEZA訪問、MAXグループへウォーター提案

6/26

バングラ物産と成果と今後の展望についてまとめ
移動日：ダッカ空港 → 昆明空港 → 上海浦東空港

6/27

移動日：上海浦東空港 → 福岡空港 → 熊本

6月21日 モスク視察（礼拝時の洗浄用水として）

ダッカの中心部に位置するモスク（バイトウルムカラム）を視察訪問。
約4万人を収容できるほど非常に大きな施設で、多くの雨水が集水可能なことを確認。
礼拝時は体の各部を洗浄する過程があり、モスク内には洗浄用の大きなプールや洗い場が設置されている。プールの水を確かめたが、やや汚れている印象を受けた。
現状多くの水を使っており、これを雨水純水で賄うといった内容で今後提案していく方針。



6月21日 北部の企業家の方へ提案

Bangladesh北部で麻の棒の生産・加工を行う企業のシポンさんへウォーターを提案。主に麻の棒を中国に輸出をしているとのこと（1tで750ドル（十数万円）程度）。ecowinウォーターには興味がある様子で、今後のBangladeshでの展開について協力いただけるとのこと。Bangladesh国内でのecowinウォーターの生産についても視野に。また、兄に国会議員の方がいらっしゃるので多方面への展開も検討できると思われる。



中央左がアラムさん（Bangladesh物産）、中央右がシポンさん（北部企業家・国会議員の弟）

6月22日 クルナ県パイクガサ市長へご提案

バングラデシュ南西部のクルナ県パイクガサ市セリム市長へウォーターのご紹介。
パイクガサ市では、主要部はwaterAIDの取り組みでRO処理された飲用水が整備されている。
水道局事務所でのプレゼンであったため、ecowinウォーターの魅力はうまく伝わらず。
主要部圏外の住戸には、個別で雨水タンクを設けて対応しているとのこと（⇒次ページ）



6月22日 クルナ県パイクガサ市の現状を視察

市長・水道局への提案後、**実際に水道の通っていない一般住宅の現状**について視察訪問。
waterAIDの取り組み（寄付支援）で、**3tの雨水タンク**を設置して生活している。
10m²も満たない大きさの屋根から集水し、簡易的なフィルターを通して集水している。
住人の方は貯めた**雨水を直接飲用して暮らしている**とのこと。
現状waterAIDの寄付で事足りている状態なので、ひとまずecowinウォーターの展開としては
純水の付加価値が求められる「**工業**」や「**富裕層**」向けを**ターゲットにする方針**に。



雨水は集水して日本へ持ち帰り、試験分析中です。



敷地内に古い井戸もあるが
ヒ素が検出され使えない↓



6月23日 Shibuさんと打ち合わせ（建築家、教授）

クルナ大学教授で建築家の**シブさん**へecowinウォーターのご紹介。
環境建築に興味があり、雨水の活用についてはもともと何かできないか模索していたそう。現在建築中の住宅においても、屋上に**2tタンク2台**を置くための**塔屋**を設置して、その**屋根面**で集水し、**雨水をためて住宅の生活水源として利用する計画**をしていた。現状ただ雨水を溜めるだけなので、そこにecowinウォーターをインストールして濾過して純水にして貯める計画で提案したところ、**快諾頂きました**。
アラムさん経由で図面を共有いただき、設置イメージを検討して見積もり提案をする予定。
※ちなみに、この場所の井戸水のTDS値は2500ppm程度の値を示しておりました。
今後は、**離島での建築PJ**などもあり、今回の導入で性能を確認後、展開していく方針に。



6月23日 Shibuさんと打ち合わせ（建築家、教授）

住宅の現場の視察の後、実際にシブさんが以前設計した、濾過システムを組み込んだ住宅をご紹介します。水道水をRO処理して安全な飲用水とする計画です。

【TDS値計測】水道水：1566ppm RO処理水：236ppm ecowinWATER：3ppm
TDSの数値の違いに驚かれ、こちらにもecowinウォーターを導入することが決まりました。本件も同様に、図面をもらいシミュレーションや見積もりをして提案する予定です。



住宅内には礼拝室もあり隣接して洗い場も配置



RO処理設備の様子



水道水
1566ppm

RO処理水
263ppm

ecowinWATER
3ppm



6月23日 政府水道局へ提案

Department of Public Health Engineering (DPHE) : バングラデシュ政府公衆衛生課 へ提案。
事前にアラムさんの方で先方へecowinウォーターの内容は説明されており、再説明したところ、**フィジビリティ検証として複数の施設へ導入したいとのこと。**

・3つの地区の小学校へ6システム（用水確保）

・DPHE庁舎屋上へ1システム（室外機噴霧）

∴合計7システム導入予定。

【今後のスケジュール】7月～8月で計画、9月に設置、10月～11月・3月～5月の計6か月で試験、6月にデータをまとめる ⇒2025年7月に予算化。

⇒7月10日までに見積もり提出予定。条件整理して国際部と協力し対応します。



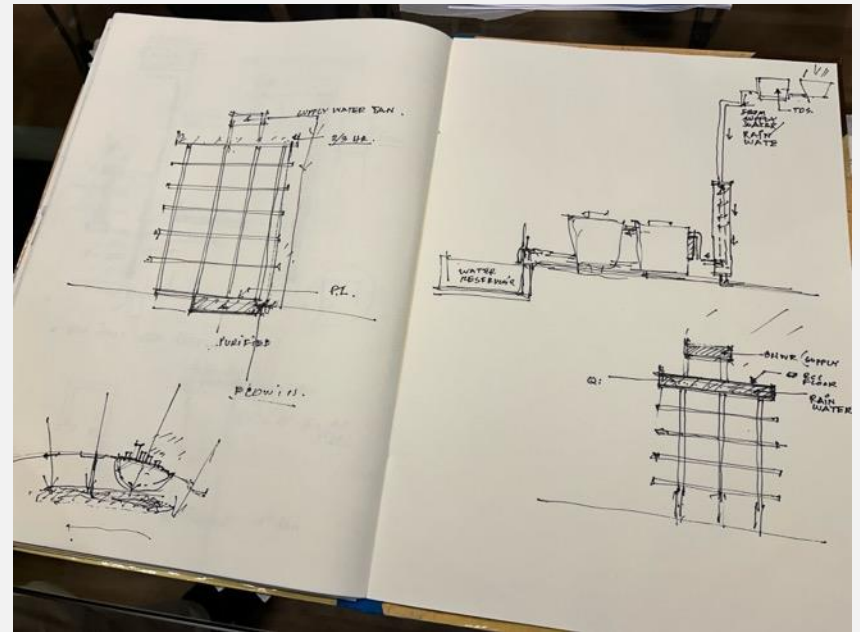
↑太陽熱でタンクの水を蒸留する装置が開発されているが、それよりも魅力的と評価いただきました



DPHEのロイさんとの面会の様子

6月24日 bashat（建築事務所）訪問

バングラデシュの建築家、マストウル・ラーマン・カーン氏へecowinウォーターをご紹介。バングラデシュのスタジアムのリノベーションを手掛けるなど**権威のある建築家**。ウォーターを紹介したところ、**雨水の活用、SDGs**といった観点から高評価いただきました。名のある建築家なので、バングラデシュ国内で**顧問として活動**いただくことをご相談したところ、**国内を中心に引き合いのある企業へ紹介していきます**、と快諾頂きました。また、**事務所内に資料を掲示**して来客者にも提案するとのこと（**要資料送付**）。お互い建築家として話も膨らみ、右下図のようにスケッチを交えながら、システムの概要を把握し建築にどう組み込めるか具体的にご検討いただきました。



6月26日 MAXグループへ製品提案（財閥企業）

バングラデシュ国内の財閥であるMAXグループへ、ecowinとecowinウォーターの製品紹介。道路や水道、発電所といった**インフラを担う非常に大きな財閥**で、技術者を交えて提案。**先方の会長や常務**はecowinウォーターを大変高評価いただきました。MAXグループの抱える施設での主に工業用水として（災害時のBCP対策として）、ご紹介しました。一部技術者の方より「**純水を飲む**」ことに**懐疑的**な方がいました。改めて水質データなど資料をしっかりと整備して再提案し、ご納得いただけるよう対応を進めていく予定です。



今回の渡航まとめと今後の展望

6/20

移動日：熊本 → 福岡空港 → 上海浦東空港

バングラデシュでの展開時の協力企業として検討

6/21

移動日：上海浦東空港 → 比明空港 → ダッカ空港

シポンさんへウォーター提案、モスク視察

6/22

ダッカ → クルナ県へ移動 礼拝前の洗浄用水としてecowinウォーターを提案

パイクガサ市長へウォーター提案、現地貧困層の現状視察

2つのPJにecowinウォーターを導入予定（生活用水）

6/23

クルナ県 → ダッカへ移動

クルナ大学教授へウォーター提案、政府水道局へウォーター提案

6/24

ダッカ市内営業訪問 小学校6校、庁舎屋上へ導入（フィジビリティ事業として）

Pan Pacific Hotelへウォーター説明、マスドウルさん（建築家）へ提案

6/25

ダッカ市内営業訪問 現地顧問として事務所に掲示・各方面への紹介を行う

BEZA訪問、MAXグループへウォーター提案

6/26

バングラデシュの生産と成果と今後の展望についてまとめ

大規模工業団地の工場用水として提案 上海浦東空港

バングラデシュでの展開時の協力企業として検討、要再提案

6/27

移動日：上海浦東空港 → 福岡空港 → 熊本